

2023年度シラバス

ファッションクリエイター科 2年

授業科目	必・選の別	年間授業時間数	単位数	担当教員	業界実務経験	ページ
服飾デザインⅡ	必修	90	3	安藤 大春 / 粕谷 悠	有	2
ニットデザインⅠ	必修	90	3	伊藤 里恵子	有	4
デザイン画Ⅱ	必修	90	3	橋本 定俊	有	6
パターンメイキングⅡ	必修	180	6	見目 家津美	有	8
ドレーピングⅠ	必修	90	3	見目 家津美	有	11
CADⅠ	必修	90	3	粕谷 悠	有	13
ソーイングⅡ	必修	225	7.5	大森 晴香	有	15
素材Ⅱ	必修	45	1.5	島田 朋子	有	19
校外研修Ⅱ	必修	30	1	福原 葉瑠子	無	21
インターンシップⅠ	選択	30	1	福原 葉瑠子	無	23
卒業制作	必修	120	4	見目 家津美	有	25

科目名	服飾デザインⅡ	教員名	安藤 大春 ・ 粕谷 悠
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたテーマや素材の中だけで考えるデザイン力 ・ニットの授業と連動した異素材ミックスデザインの考え方 ・実践的なブランディング ・それぞれの作品ごとのミニプレゼンと卒業作品の最終プレゼン 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイナー、パタンナーという職業に興味を持たせる ・様々な技法を用いたデザインの発想力、想像力を身につける ・デザイン～ブランディング～プレゼンをできるようにする 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のブランドを作り、テーマ・コンセプトを設けて、それに沿って1年間デザインを考えていく ・PINTERESTなどでデザインソースを集め、それをアレンジしてデザインする発想力を身につける ・イラストレーターでデザイン画、テキスタイル、プレゼン資料などを作る ・いろいろな生地を触って、生地からデザインを考える 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席日数、授業態度 ・デザイン画、テキスタイル、プレゼンマップの提出 		
※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。			
特記事項			
教員の實務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 實務概要(MIDDLAデザイナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ブランディング	自分のブランドを考える(ブランド名、コンセプト等)
2回	ジャケット・パンツデザイン	指定された生地でジャケット・パンツのデザイン(テーマ・コンセプト)
3回	↓	指定された生地でジャケット・パンツのデザイン(スタイル・平絵)
4回	↓	指定された生地でジャケット・パンツのデザイン画プレゼン
5回	ピッグスキンデザイン(2グループ)	ピッグスキンアイテムデザイン(共通テーマ・コンセプト)
6回	↓	ピッグスキンアイテムデザイン(スタイル・平絵)
7回	↓	ピッグスキンアイテムデザイン画プレゼン
8回	ニットアイテムデザイン	ニットアイテム+ボトムデザイン(スタイル・平絵)
9回	↓	ニットアイテム+ボトムデザイン(スタイル・平絵)
10回	↓	ニットアイテム+ボトムデザインデザイン画プレゼン>提出
11回	卒展作品デザイン(3体)①	卒展作品デザイン(素材決定、ラフ画3体)
12回	↓	卒展作品デザイン(ラフ3体、平絵)>提出
13回	ピッグスキン完成作品プレゼン	ピッグスキン完成作品プレゼン(夏休み明け1回目の授業)
14回	卒展作品デザイン(3体)②	卒展作品デザイン~素材・付属確認、清書3体、平絵
15回	↓	↓
16回	↓	↓
17回	↓	↓
18回	↓	卒展作品デザイン&トワルチェック(10/19)
19回	卒展作品デザイン(3体)③	卒展作品デザイン修正
20回	↓	↓
21回	↓	↓
22回	ブランドポートフォリオ作成	ブランドロゴ、コンセプト、ターゲット、説明
23回	↓	イメージマップ、ポートフォリオ作成
24回	↓	MDマップ(平絵、色展開等)作成
25回	ニットアイテムデザイン作品プレゼン	ニットアイテム+ボトムデザイン作品プレゼン
26回	卒展作品デザイン(3体)④	卒展デザイン最終チェック
27回	↓	↓
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	卒業制作プレゼン	卒業制作の個人プレゼン

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	ニットデザイン I	教員名	伊藤 里恵子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>ニットの基礎知識を習得し、概論及び知識を理解する。</p> <p>基礎技術を習得し、その応用でニット作品(布帛とのコーディネート作品)を製作する。</p>		
到達目標	<p>ニットの基礎知識を理解する。</p> <p>棒針、鉤針、家庭機の基礎技術を習得する。</p> <p>簡単なパターンでオリジナル作品が作れるようにする。</p>		
授業の方法	<p>ニットの基礎知識の講義</p> <p>棒針、鉤針、家庭機の講義、実習</p>		
成績評価の方法	<p>提出物(授業内で制作した編み地や製品のクオリティー) 80%</p> <p>授業姿勢、出欠席 20%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(Millanniニットデザイナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ニット基礎講義	ニットの用具、編成原理、糸について
2回	棒針基礎	ニットの三原組織、編み記号の理解、実習
3回	↓	↓
4回	鉤針基礎	かぎ針編み記号の理解、実習
5回	↓	↓
6回	家庭機基礎	3年生から1:1レクチャー、基礎編み実習
7回	↓ (ニット×布帛のデザイン説明)	↓
8回	↓	ソーイングラボ(家庭機で付属リブをオリジナル製作)
9回	↓	↓
10回	ニット×布帛の製作	細かなデザイン相談、糸の選定
11回	↓	↓
12回	↓	↓
13回	↓	編み地決定予定
14回	↓	↓
15回	↓	↓
16回	↓	↓
17回	↓	↓ 棒針、鉤針、家庭機の基礎続き
18回	↓	↓ ↓
19回	↓	↓ ↓
20回	↓	↓ ↓
21回	↓	↓ ↓
22回	↓	↓ ↓
23回	↓	完成予定 ↓
24回	卒業制作、自由課題	↓ ↓
25回	↓	↓ ↓
26回	↓	↓ ↓
27回	↓	↓ ↓
28回	↓	↓ ↓
29回	↓	↓ ↓
30回	↓	完成

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	デザイン画Ⅱ	教員名	橋本 定俊
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>基礎デッサン、衣服の着装画、製品図の描き方などを、デザインとともにトータルに学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シルエット、プロポーション、カラダの動き、顔・手・足などの詳細な書き方のテクニックを学習。 ・ カラーリング、質感、素材表現の学習。 ・ 衣服の詳細(ポケット、襟、袖口など)の描き方の学習。 ・ 生地をリアルに表現するための様々な描画手法の学習。 ・ 技術的な平画(製品図)の学習。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服の特徴(形、素材、パターン、色...)を正確に表現し、人体のプロポーション通りに描けるようになること。 ・ 描画において各自が独自のスタイルを確立し、個性的なスタイル・コレクションを完成させること。 ・ 各自、複数のデザインによるスタイルファイルを完成させること。 ・ ポートフォリオ制作 ・ パネル制作 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の個性や一人一人が持っている良い部分を伸ばしていくように指導。 ・ 実習での繰り返しの練習により描画力を身につける。 ・ 学習方法は、授業の中での実習と、授業で学んだことの自宅での復習とする。 		
成績評価の方法	<p>◎授業での演習、自宅での課題演習、課題の出来栄え(必要な職務を遂行する上での創造性と品質、提出期限など) 60%</p> <p>◎テスト 15%</p> <p>◎授業態度(礼儀正しさ・努力などの姿勢、コミュニケーション力、クラスへの積極的な参加など) 15%</p> <p>◎出席率 10% ◎継続的なレベルの向上加点 +0~10%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 実務概要(ファッションデザイナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	YKKファスニングアワード	コンペデザイン画チェック
2回	↓	↓ A4
3回	YKK、名古屋コンテスト	↓ A4 / B4
4回	全国ファッションデザインコンテスト	↓ B4 (セットアップデザイン画)
5回	TLF革のデザインコンテスト	↓ A4
6回	日暮里ファッションデザインコンテスト	↓ B4
7回	色々な画材を使って 表現の幅を広げる	色々な画材を使って、衣服の素材・質感など、様々な表現方法を学ぶ
8回	↓	↓ (ニットミックスデザイン画)
9回	ファッションスケッチ、コラージュ	身体を理解する(比率・バランスライン・軸・関節)、コラージュ制作の基礎を学ぶ (ピッグスキンデザイン画)
10回	ポートフォリオ制作	装苑賞又はオリジナルブランドのポートフォリオ
11回	デザインテーマの模索	リサーチ
12回	自分のスタイルの確立	↓
13回	↓	↓
14回	↓	完成(まとめと評価)
15回	ファッション画コンクール	↓
16回	卒業制作デザイン画	色塗り等
17回	東京都ファッションデザインコンテスト	コンペデザイン画チェック / A4
18回	新宿ファッションフィールド	↓ A4
19回	ザッカデザインコンペティション	↓ B4
20回	↓	↓
21回	メンズプロポーション	メンズの体型を理解する(比率・バランスライン・軸・関節)
22回	ジュニアプロポーション	ジュニアの体型を理解する(比率・バランスライン・軸・関節)
23回	キッズプロポーション	キッズの体型を理解する(比率・バランスライン・軸・関節)
24回	↓	↓
25回	パネル制作	A3パネル水張り
26回	↓	下描き
27回	↓	本描き
28回	↓	彩色
29回	↓	↓
30回	↓	完成(まとめと評価)

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	パターンメイキングⅡ	教員名	見目 家津美
授業時数・単位	180 時間 6 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で習得した知識を確認しながら、各プロジェクトのデザインのパターン作成をする。 ・平面と立体とを関連付けて作業ができるようにする。 ・生地 の 性質 を 把握 し 縫製 を 考 え て、服 作 り に 必 要 な 工 業 パ タ ー ン を 正 確 に 作 る。 ・CAD と の 連 動 に よ り、工 業 パ タ ー ン 展 開 や 縫 製 仕 様 書 作 成 な ど 効 率 よ く 行 え る よ う に す る。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン画をきちんと読み取り、出来上がりを想像してパターンを作成する。 ・正確にトワル組立てをしてデザイン画通りに仕上がっているか確認し、修正できるようにする。 ・縫製の仕様を考え必要なパーツを把握して、正確な工業パターンを作成できるようにする。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・身頃の展開方法を再確認する。 ・衿の作図や袖の作図及び展開方法を確認する。 ・オリジナルデザインを効率よく進めていけるようにする。 ・各自、スケジュール管理を徹底させる。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ①出席 10% ②パターンへの意欲、努力、完成度 40% ③トワルの完成度 30% ④作品のクオリティ・期限 20% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(パタンナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ジャケット	ジャケット①作図 (身頃)
2回	↓	↓
3回	↓	ジャケット①作図 (衿)
4回	↓	ジャケット①作図 (袖)
5回	↓	ジャケット②作図 (身頃)
6回	↓	↓
7回	↓	ジャケット②作図 (衿)
8回	↓	ジャケット②作図 (袖)
9回	同素材セットアップ	オリジナルデザイン作図
10回	↓	↓
11回	↓	↓
12回	↓	トワル組立て
13回	↓	↓
14回	↓	修正・工業パターン
15回	↓	↓
16回	↓	↓
17回	ピッグスキン	グループオリジナルデザイン作図
18回	↓	↓
19回	↓	↓
20回	↓	両身トワル縫い
21回	↓	↓
22回	↓	修正・工業パターン
23回	↓	↓
24回	↓	↓
25回	卒業作品制作	各自オリジナルデザイン作図
26回	↓	↓
27回	↓	↓
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	↓	↓

31回	↓	↓
32回	↓	↓
33回	↓	両身トワル縫い
34回	↓	↓
35回	↓	↓
36回	↓	↓
37回	↓	修正・工業パターン
38回	↓	↓
39回	↓	↓
40回	↓	↓
41回	↓	↓
42回	↓	↓
43回	↓	↓
44回	↓	↓
45回	↓	↓
46回	↓	↓
47回	↓	↓
48回	↓	↓
49回	↓	↓
50回	↓	卒業作品縫製（ソーイングと連携）
51回	↓	↓
52回	↓	↓
53回	↓	↓
54回	↓	↓
55回	↓	↓
56回	↓	↓
57回	↓	↓
58回	↓	↓
59回	↓	↓
60回	↓	↓

1日3時間 × 60回 = 180時間

科目名	ドレーピング I	教員名	見目 家津美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生地の手地、ヨコ地を把握して、地の目の大切さを確認する。 ・身体の凹凸を理解して原型が作られる工程を学ぶ。 ・きちんと正確に美しくピン打ちが出来るようにする。 ・平面を理解して身体のゆるみや運動量を考えながら作りあげていくことができるようにする。 ・フォルムを作る面白さを深める。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレーピングの基本技術を習得する。(地の目・ピン打ち・組立てとトレース) ・フォルムへのこだわりや手で探る意識などドレーピングの感覚を養う。 ・美しいフォルムを目指して最後まで完成させる。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地の目の大切さを理解する。 ・平面作図を理解した上でフォルムを作っていく。 ・美しく仕上げるように心がける。 ・課題は講師の最終確認とし、授業時間内の提出とする。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ①出席 10% ②ドレーピングへの意欲、努力 40% ③トワルの完成度 30% ④作品の提出 20% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の實務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 實務概要(パタンナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ドレス原型ドレーピング準備	ボディーにB・W・Hのテープ入れ シーティングの地直し
2回	身頃原型	ピンの打ち方 地の目の見方 各ダーツの作り方
3回	スカート原型	↓
4回	立体から平面へのトレース	トレースの仕方や寸法調整
5回	ジャケット	トワル組立て(パターン授業で作図したジャケット)
6回	↓	↓
7回	↓	↓
8回	同素材(セットアップ)	トワル組立て(パターン授業で作図したトックス)
9回	↓	↓
10回	↓	↓
11回	ピッグスキン	トワル組立て(パターン授業で作図したアイテム)
12回	↓	↓
13回	フレアスカート	前スカート フレアの面の作り方
14回	↓	後スカート フレアの面の作り方 ウエストベルト
15回	ブラウス	前身頃 ヨーク切替ギャザー
16回	↓	後身頃 ヨーク切替ギャザー
17回	↓	衿
18回	↓	衿のバリエーションのドレーピング
19回	↓	身頃・衿トレース
20回	↓	袖作成
21回	卒業作品	各自オリジナルデザイン
22回	↓	↓
23回	↓	↓
24回	↓	↓
25回	↓	↓
26回	↓	↓
27回	↓	↓
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	↓	↓

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	CAD I	教員名	粕谷 悠
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>・アパレルCADソフト(東レクレアコンポ)の基本操作をマスターし、アパレルメーカー等で技術職の即戦力として活用できる力を身に付ける。</p> <p>・CADのアパレル業界での役割と有効性を理解し、実践即した企画～パターン作成～縫製での流れで、効率の良いCADの活用法を理解する。</p> <p>・CAD技術習得と同時にパターンの理解も深める。</p> <p>・アパレル企業でも通用するパターン制作知識を習得する。</p>		
到達目標	<p>・基本的なCADの操作だけでなく、応用、実践的な活用術を身に付ける。</p> <p>・画面上での原型からのパターン展開の操作により、パターン作成の原理の理解を深める。</p> <p>・ショートカットキーの使用の習得により、効率的なCAD操作を身に付ける。</p> <p>・工業パターン化の詳細を身に付け、実践に活かすことのできるパターン作成を目指す。</p>		
授業の方法	<p>・CADの基本操作を習得し、平面作図からパターン展開を行う。</p> <p>・パターン作成をする上でCADの有効的な使い方を指導。</p> <p>・商品生産のプロセスに即したパターン作成、工業パターン化、マーキング、グレーディング、縫製仕様書作成等の一連の基本操作を指導。</p>		
成績評価の方法	<p>①基本操作の理解度 50% ②速さ・正確性 30% ③テスト 20%</p> <p>* 授業・課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0～10%</p> <p>* 出席率 加点+0～15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<p>(有)・無 実務概要(MIDDLAパタンナー)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	CADについて	基本知識・基本操作の練習
2回	基本操作応用	ダーツの移動・ライン修正・その他マニピレーション
3回	スカートマニピレーション	セミタイト～セミフレア～フレアスカート
4回	スカートの工業用	裏地・ベルト・ポケット作図
5回	↓	縫い代つけ・情報付け
6回	↓	用尺だし・パターン利用の製品図・仕様書
7回	パンツ原型作図	スカート原型からパンツ原型への展開
8回	オリジナルボトムの作図	ニットアイテムに合わせたのボトムパターン作図
9回	↓	パターン出力・トワル組み
10回	↓	トワルチェック・パターン修正
11回	↓	工業用パターン完成、仕様書の作成
12回	グレーディングについて	グレーディングの考え方、CADのグレーディングの操作
13回	復習	CADの操作、グレーディングについての復習
14回	卒展パターン	デザイン画をもとにMTG ボトムパターンの作図スタート
15回	↓	パターン出力・トワル組み
16回	中間トワルチェック	ボトム半身トワルチェック
17回	↓	最終調整 アシンメトリーのデザインは両身トワル作成
18回	最終トワルチェック	全体トワルチェックからの修正をパターンに反映
19回	↓	↓
20回	↓	工業用パターン作製、縫い代・情報付けのチェック
21回	↓	工業用パターン完成、仕様書の作成
22回	↓	パターン出力、パターンくりぬき
23回	↓	↓
24回	↓	予備日
25回	パターンのデータ化	トップスパターンの読み込み、トレース、工業用
26回	↓	工業用パターン完成、仕様書の作成
27回	↓	パターン出力、パターンくりぬき
28回	↓	↓
29回	卒業制作展作品仕様書	卒業制作展作品アイテムの仕様書作成・提出
30回	↓	↓

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	ソーイングⅡ	教員名	大森 晴香
授業時数・単位	225 時間 7.5 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・パターン、CADなどの授業と連携し、各自のイメージするデザインを形にする。 ・特殊素材にも積極的に触れ、素材やデザインごとの扱い方や縫製上の注意点を学び、幅広い縫製の技術を身につける。 ・2年間学んだ集大成として、卒業作品を製作。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が提出期限までの日数を考慮した計画を立て、納期への意識を高める。 ・作品の仕上がりの良し悪しを判断出来るようにする。 ・生地によつての縫製の注意点を理解する。 ・縫製する際、どうすれば効率良く作業が出来るか常に意識出来るようにする。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・部分縫いでは実演をしながら説明し、縫製する上での効率の良いポイントなどを指導。 ・作品ごとに工程表を作成し、工程の順序や進行状況、納期に関しての理解を深める。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 20% ・作品の提出期限 10% ・作品のクオリティ 70% ・出席加点 +0～10% 授業態度 +0～10% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(高級婦人服、舞台衣装などの縫製、お直しなど)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ミシン練習	基礎縫い復習
2回	↓	↓
3回	手縫い練習	↓
4回	部分縫い復習	箱ポケット
5回	↓	片玉縁ポケット
6回	↓	両玉縁ポケット
7回	↓	↓
8回	部分縫い	切替利用のポケット
9回	↓	アウトポケット(中縫い仕立て)
10回	↓	ファスナー付きポケット
11回	↓	略比翼
12回	↓	↓
13回	↓	本比翼
14回	ニットジップアップ作品	工程確認 裁断 縫製準備
15回	↓	縫製
16回	↓	↓
17回	↓	↓
18回	↓	↓
19回	↓	完成
20回	同一素材作品	工程確認 裁断 縫製準備
21回	↓	縫製
22回	↓	↓
23回	↓	↓
24回	↓	↓
25回	↓	↓
26回	↓	↓
27回	↓	完成
28回	ピッグスキン作品	工程確認 裁断 縫製準備
29回	↓	縫製
30回	↓	↓
31回	↓	↓
32回	↓	↓
33回	↓	↓

34回	↓	↓
35回	↓	↓
36回	↓	↓
37回	↓	↓
38回	↓	↓
39回	↓	↓
40回	↓	↓
41回	↓	↓
42回	↓	↓
43回	↓	↓
44回	↓	↓
45回	↓	↓
46回	↓	↓
47回	↓	↓
48回	↓	↓
49回	↓	↓
50回	卒業制作作品縫製	工程確認 裁断 縫製準備
51回	↓	縫製
52回	↓	↓
53回	↓	↓
54回	↓	↓
55回	↓	↓
56回	↓	↓
57回	↓	↓
58回	↓	↓
59回	↓	↓
60回	↓	↓
61回	↓	↓
62回	↓	↓
63回	↓	↓
64回	↓	↓
65回	↓	↓
66回	↓	↓
67回	↓	↓

68回	↓	↓
69回	↓	↓
70回	↓	↓
71回	↓	↓
72回	↓	↓
73回	↓	↓
74回	↓	↓
75回	↓	完成

1日3時間 × 75回 = 225時間

科目名	素材Ⅱ	教員名	島田 朋子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>◎ 1年次に学んだ生地加工の知識を応用して、新しい表現を習得する</p> <p>◎ 素材からデザインを考えていくために、更に深い知識を学ぶ</p> <p>◎ 1年次に学んだデジタルプリントの知識を応用し、表現方法を広げていく</p> <p>◎ ターゲットに対してMD的視点を持って素材を選びデザインすることを学び、就活に繋げていく</p>		
到達目標	<p>◎ 素材加工の幅を広げて、作品のオリジナル性を高める</p> <p>◎ 素材の基礎知識を深める</p> <p>◎ 市場性を考えた商品企画を出来るようになる</p>		
授業の方法	<p>◎ テキスタイルについての資料プリントの配布と説明</p> <p>◎ 生地加工でオリジナル素材を作る</p> <p>◎ デジタルテキスタイルプリントのテクニックをパソコンを使って学ぶ</p> <p>◎ 市場調査をした中でターゲットを決めて企画を作る</p>		
成績評価の方法	<p>出席率、授業取り組み姿勢、作品完成度</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(テキスタイルデザイン、OEM企画、品質管理)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッション業界の流れ	ファッション業界の大きな流れと現状、テキスタイル業界の抱えている問題を学ぶ
2回	商品企画とは	アパレルの商品企画とはどういうものかを知る
3回	日本の産地と桐生産地について	日本国内の産地を知り、また桐生研修前にどのような産地かを学ぶ
4回	オリジナル生地加工	全員が同じ白の素材を使っての生地加工
5回	エンジニアリングプリントの企画①	服のディテールとパターンに柄を組み込んでいくデジタルプリントの企画をデータ上で制作
6回	エンジニアリングプリントの企画②	服のディテールとパターンに柄を組み込んでいくデジタルプリントの企画をデータ上で制作
7回	エンジニアリングプリントの企画③	服のディテールとパターンに柄を組み込んでいくデジタルプリントの企画をデータ上で制作 希望者は卒業制作につなげる
8回	前期制作のプレゼン	オリジナル生地加工とエンジニアリングプリントのプレゼン
9回	テキスタイルの基礎知識①	素材ブックを作成し、また資料プリントで知識を習得する
10回	テキスタイルの基礎知識②	素材ブックを作成し、また資料プリントで知識を習得する
11回	品質について①	商品を企画販売する上で必須である品質について学ぶ
12回	品質について②	商品を企画販売する上で必須である品質について学ぶ
13回	卒業制作の為の生地加工①	卒業制作の為のオリジナル素材制作と展示用生地加工の制作
14回	卒業制作の為の生地加工②	卒業制作の為のオリジナル素材制作と展示用生地加工の制作
15回	期末テスト	テキスタイルの基礎知識と品質についての期末テストを実施、解答しながら解説する

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	校外研修Ⅱ	教員名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>通常授業から離れ、様々な体験を積むことにより、教養の幅を広げ、感性を育むとともに、ファッション業界を目指す上で役立つ基礎的な素養を身につけます。</p>		
到達目標	<p>この研修を通じて、できるだけたくさん「自分にとっての新たな発見」を体感してください。 その発見から、興味・関心の幅を広げ、自己の成長に繋げることを目標とします。 具体的には、ファッション業界への更なる興味喚起、素材・テキスタイルに関する知識・技術の習得、西洋美術・日本美術への興味喚起・感性研鑽、デザインモチーフの考察、舞台演出の技法研究、演技・表現方法の観察などを目指します。</p>		
授業の方法	<p>参加体験型の取り組みとなります。 各自が積極的に参加し、自ら進んで多くの発見をしてください。 ①ファッション業界で活躍する方の講演 ②美術鑑賞・デザインモチーフ研究 ③繊維織物工場の見学・制作体験 ④芸術鑑賞(観劇)</p>		
成績評価の方法	<p>各自が自主的に多くを吸収することを求める授業ですので、出席を重視し、成績はA・B・Cではなく、P(合格)・F(不合格)で評価します。 P=出席率75%以上、F=出席率75%未満 ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>本人の取り組み方次第で、多くを発見し、自己の成長に繋げることができる授業科目です。 1年次の経験を基に、更に積極的に参加し、幅広い教養・感性等を習得してください。</p>		
教員の實務経験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 實務概要()		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	①ファッション業界で活躍する方の講演	学生時代から現在の仕事までの体験談・仕事について・学生へのアドバイス（3時間）
2回	↓	振り返り（1.5時間）
3回	②美術鑑賞・デザインモチーフ鑑賞	西洋絵画鑑賞等に向けての解説（1.5時間）
4回	↓	美術館での西洋絵画鑑賞（3時間）
5回	↓	動物園でのデザインモチーフ研究または博物館での日本美術鑑賞（3時間）
6回	↓	振り返り（1.5時間）
7回	③繊維織物工場の見学・制作体験	制作体験の準備（3時間）
8回	↓	繊維織物工場の見学・制作体験（6時間）
9回	↓	振り返り（1.5時間）
10回	④芸術鑑賞（観劇）	観劇に向けての解説（1.5時間）
11回	↓	劇場での観劇（3時間）
12回	↓	振り返り（1.5時間）

科目名	インターンシップ I	教員名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>企業等で、実際の仕事現場での業務を体験する研修です。</p> <p>プロの指導の下、業務を体験することで、プロ意識を植え付け、職業についての理解を深めます。</p> <p>自分自身の職業適性を知る機会にもなり、将来の職業選択にも役立つ授業科目です。</p>		
到達目標	<p>企業等で与えられた仕事・課題を遂行し、職場において社会人としての基本的な行動ができること。</p> <p>そして、体験した業務に関する職業観を会得することを目標とします。</p>		
授業の方法	<p>受け入れ先のルール・指示に従い、現場の業務を体験します。</p>		
成績評価の方法	<p>受け入れ先担当者からのフィードバック(書面または口頭による評価)、研修完了報告書等により、インターンシップを滞りなく完了したことを確認し、P(合格)・F(不合格)で評価します。</p> <p>P=インターンシップ完了、F=インターンシップ未完了(欠勤や業務不適應で完了と認められない場合)</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>インターンシップ実施時間合計28時間以上の研修を対象とします。</p> <p>また、複数のインターンシップに参加し、実施累計時間28時間以上となる場合も履修と認めます。</p>		
教員の实务経験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 实务概要()		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	事前指導	インターンシップの注意事項、受け入れ先企業の基本情報をレクチャー（1時間）
2回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ
～	↓	↓
11回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ（インターンシップ時間合計 28時間以上）
12回	報告書作成	研修完了報告書の作成・提出（1時間）

科目名	卒業制作	教員名	見目 家津美
授業時数・単位	120 時間 4 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>通常授業のパターンメイキングⅡ、ソーイングⅡと連携し、5時限目以降および通常授業の休講日を利用して制作作業を行います。卒業作品の完成度を高めるとともに、作業工程の期日管理を考慮して指導します。</p>		
到達目標	<p>完成度の高い卒業作品を2点以上完成させ、卒業・修了制作展のファッションショーに出品することを目標とします。</p>		
授業の方法	<p>ファッションショーに出品できるレベルの完成度の高い卒業作品を期日までに完成できるよう、一人ひとりにマンツーマンで制作指導を行います。</p>		
成績評価の方法	<p>ファッションショーに出品できるレベルの完成度の高い作品を期日までに完成させ、出品できたかどうかをP(合格)・F(不合格)で評価します。</p> <p>P=ファッションショーに出品、F=ファッションショーへの出品不可</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(パタンナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	卒業作品制作	卒業作品のパターン、縫製、小物制作を工程に合わせて指導（2時間）
～	↓	↓
60回	↓	↓

ファッションクリエイター科 授業科目一覧表									
分類	授業科目	必・選 の別	1年次		2年次		授業 種類	担当教員	業界 実務 経験
			年間授業 時間数	単位	年間授業 時間数	単位			
専門 科目	服飾デザインⅠ	必修	90	3			実習	安藤 大春 粕谷 悠	○
	服飾デザインⅡ	必修			90	3	実習	安藤 大春 粕谷 悠	○
	ニットデザインⅠ	必修			90	3	実習	伊藤 里恵子	○
	デザイン画Ⅰ	必修	90	3			実習	松本 和子	○
	デザイン画Ⅱ	必修			90	3	実習	橋本 定俊	○
	パターンメイキングⅠ	必修	270	9			実習	平田 ます実	○
	パターンメイキングⅡ	必修			180	6	実習	見目 家津美	○
	ドレーピングⅠ	必修			90	3	実習	見目 家津美	○
	CADⅠ	必修			90	3	実習	粕谷 悠	○
	ソーイングⅠ	必修	180	6			実習	平田 ます実	○
	ソーイングⅡ	必修			225	7.5	実習	大森 晴香	○
専門 関連 科目	素材Ⅰ	必修	90	3			演習	島田 朋子	○
	素材Ⅱ	必修			45	1.5	演習	島田 朋子	○
	カラー	必修	45	1.5			演習	杉本 祐子	○
	パソコンデザインワーク	必修	90	3			実習	安藤 大春	○
	ファッションビジネスセオリー	必修	45	1.5			講義	藤原 喜仁	○
一般 科目	校外研修Ⅰ	必修	30	1			実習	福原 葉瑠子	×
	校外研修Ⅱ	必修			30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	インターンシップⅠ※	選択			30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	修了制作	必修	60	2			実習	平田 ます実	○
	卒業制作	必修			120	4	実習	見目 家津美	○
必修科目授業時間数			990	33	1050	35			
選択科目授業時間数					30	1			
卒業に必要な総授業時数			1700時間						
全設置授業時数			2070時間						
実務教員授業時数			1980時間						

※受講生の選抜を行う場合がある